



2008年 クールビズ体感調査 アンケート結果 <映画館にて> (調査日時:7月26日 サンプル数:237)

環境省では、新宿ピカデリーで実施された、上映館内の冷房時の室温を2℃緩める(27℃に設定)試験的取組について、来館者を対象者として、アンケート調査を実施した。

調査結果は以下のとおり、全体の約80%以上が、「適温である」又は「やや暑い」が、特段支障なかった」と回答するとともに、今後このような冷房温度を控えめにする取組を続けるべきと回答した人も全体の90%以上にまで達した。

<アンケート調査>

【調査日時】7月26日(土)

【調査方法】来店者を対象として、調査員による任意の書面アンケート調査

【サンプル数】237 (男性:86 女性:148 性別無回答:3)

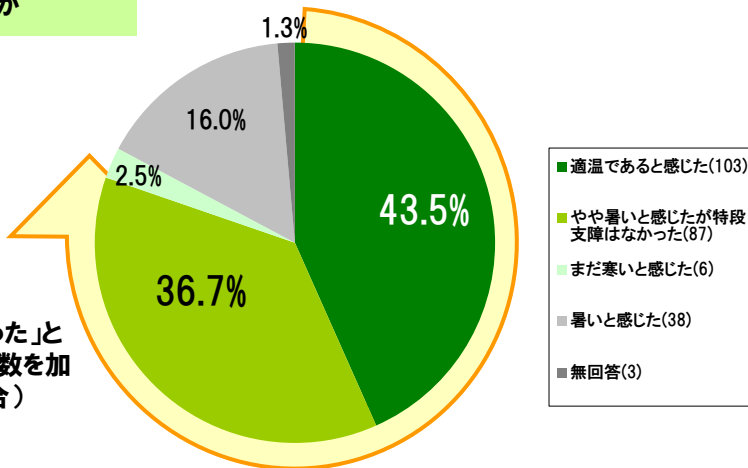
※スコアは小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを掲載する

(1):館内の室温についてどのように感じましたか

<「適温」ならびに「やや暑い」が特段支障はなかったと感じた計>

(n=237)

80.2% (※82.7%)



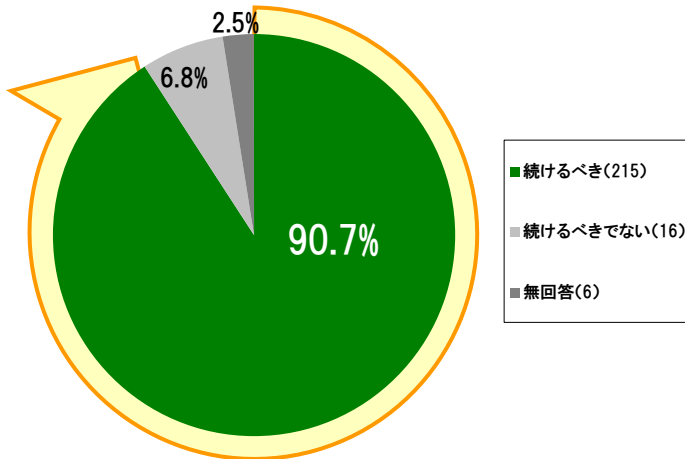
(※「適温である」「やや暑い」が特段支障はなかった」と回答した人数に「まだ寒いと感じた」と回答した人数を加えた、取組に対して肯定的な意見の人数計の割合)

(2):地球温暖化対策のために、今後この取組を続けるべきと思いますか

<地球温暖化対策のために今後この取組を続けるべきと考えている人の割合>

(n=237)

90.7%



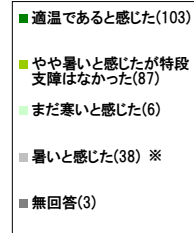
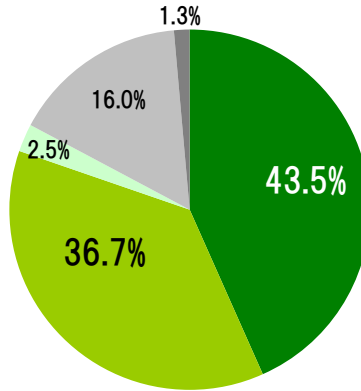
アンケート集計結果(男女別)

(1):館内の室温についてどのように感じましたか

<総計>(再掲)

(n=237)

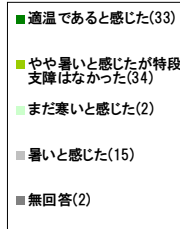
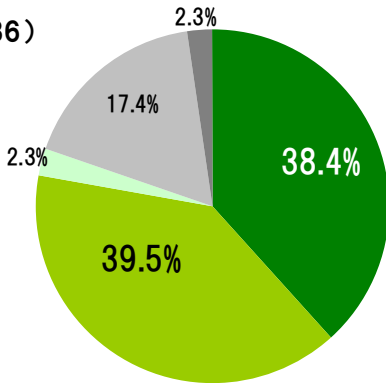
※性別無回答の3サンプルを含む



※性別無回答の3サンプルを含む

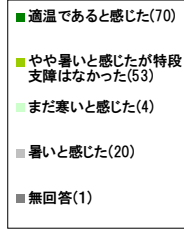
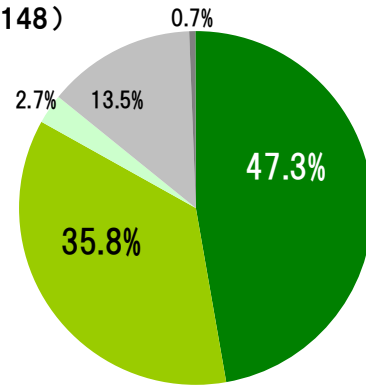
<男性>

(n=86)



<女性>

(n=148)

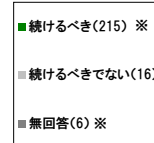
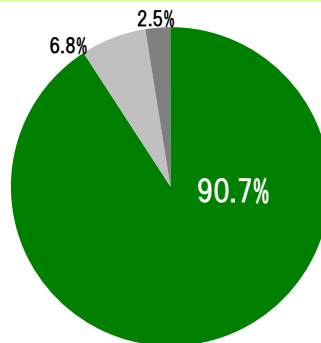


(2):地球温暖化対策のために、今後この取組を続けるべきと思いますか

<総計>(再掲)

(n=237)

※性別無回答の3サンプルを含む

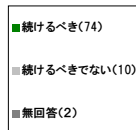
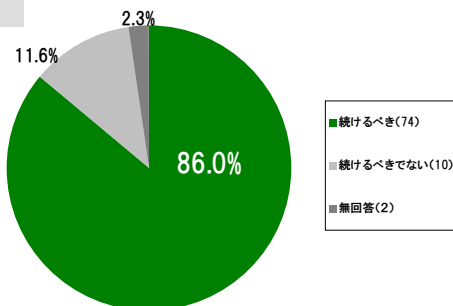


※性別無回答の2サンプルを含む

※性別無回答の1サンプルを含む

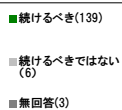
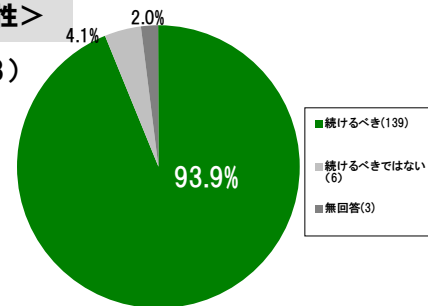
<男性>

(n=86)



<女性>

(n=148)



<今回の試験的取組によせられた意見>

(自由回答:41件) ※重複回答あり

- このような取組を支持する(15件)
- 取組自体には賛同するが、もっと工夫が必要だ(13件)
(スペースによって分ける/天候によって温度設定を変えるetc)
- 他のスペースでも実施するなどして取組を拡大していくべき(4件)
- ちょうどよい室温だったと思う(3件)
- このような取り組みはもっと広報するべきだ(3件)
- 暑かった(6件)
- 暑すぎて映画に集中できないので、取組自体に否定的である(4件)
- その他(2件)

<映画館の他にこのような取組を実施したほうが良い場所>

(n=237)

●最もクールビズの取組を実施した方が良い場所として全体では、「デパート/百貨店」が選ばれた。

ー 女性単独で見るとクールビズの取組を実施した方が良い場所として「電車」「飲食店」「ホテル」「バス」の各項目について、男性よりも5ポイント以上高い数値となった。

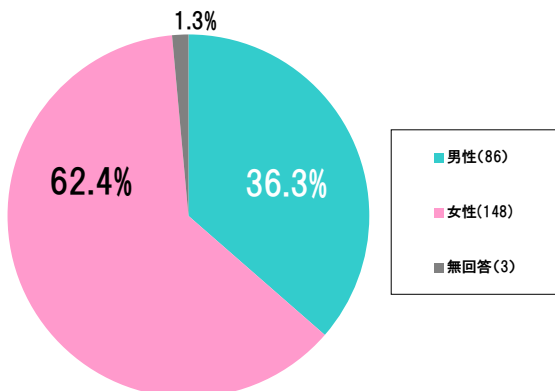


※全体の項目には性別無回答の3サンプルも含む

<アンケート回答の男女比率、年代構成について>

<性別>

(n=237)



<年齢>

(n=237)

0~10歳(13) 11~20歳(20) 21~30歳(59) 31~40歳(64) 41~50歳(50)
51~60歳(22) 61~70歳(3) 71~80歳(2) 無回答(4) (人)

